

ムクドリ



雨戸の戸袋に巣を作られ、卵の殻は青くきれい。電線にたくさん鳥が止まって騒がしく、下にはたくさんの種子が落ちていた。スズメより一回り大きく、嘴と脚は黄褐色で、腰の羽が白い……。これらの特徴を合わせ持つ鳥は、間違いなくムクドリ（椋鳥）です。

ムクドリは、市街地や農耕地で普通に見かける鳥の代表種です。春にトラクターが起こした田畑の土から小さな虫を見つけ、食します。

秋から冬には集団をつくり、夕方の空をまるでひとつの生きもののごとく流れるように乱舞し、やがて畦わづらに入っていきます。ケヤキなどの大木が少なくなった今、小さな竹藪が畦となつているのを観察することができます。



餌を探すムクドリ



乱舞するムクドリの群れ